

日刊 動労千葉

87. 12. 4

No. 2716

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

革マル鉄道労連解体、強制出向・配転攻撃粉碎へ 動労連帯高崎第二回大会開催

一九八七年十一月二日、熊谷市福祉センターにおいて、八〇名をこえる国労をはじめ、地域の労働組合、各団体の代表の参加を得て、動労連帯高崎の第二回定期大会が開催された。大会は、十五時、関和副委員長の開会のあいさつに続いて、動労連帯高崎を代表してあいさつに立った和田山委員長は、「一年前、動労革マルの拠点といわれた高崎において、裏切り者集団「動労革マル」と訣別し、首を覚悟で決起した。そして闘いの中で組織を拡大し、多くの地域の闘う仲間を支えられながら、同時に、われわれ自身も少数ではあるが、闘う仲間と連帯して、共に闘いぬき、地域において戦闘的労働運動の一翼を担う地位を確立しつつある」と述べ、この一年間の闘いを確信を持って総括すると共に、当面する強制出向・配転攻撃粉碎、革マル鉄道労連解体、全労連粉砕の闘いへ決起する決意を表明した。動労総連合を代表して、水野委員長が「あいさつを行い、つづいて各共闘・支援団体のあいさつが次のとおり行われた。

大会は、和田山委員長による、一、戦争とファシズムの道に反対し、反共御用組合、鉄道労連・全労連解体の闘い、二、無協約を恐れず不当労働行為・強制配転・出向攻撃粉碎の闘い、三、動労の伝統を守り、組織強化・拡大の闘い、四、地域と職場を貫く階級的共闘体制の確立を中心とする方針提起、天田書記長による決算報告・予算提案。丸山会計監査員による会計監査報告が行われた。大会は満場一致、これを承認し、十七時十五分終了した。

高崎一〇〇余名参加

十一月二十二日、動労連帯高崎結成一周年を記念して「俺達は鉄路に生きる」第三報上映会が、熊谷市福祉センターで、一〇〇名をこえる地域の仲間を結集して開催された。分割・民営化に反対して闘う国鉄労働者の姿を克明に追った「第三報」は、大きな感動を呼び、その熱気は、つづく動労連帯高崎第二回定期大会へと引きつがれた。

同日、動労水戸の主催によって茨木でも「第三報」上映会が開催され、一〇〇名の仲間が結集した。国鉄労働者を支える茨木県連絡会議田中陽平氏、水戸平和問題懇談会寺沢氏、部落解放同盟茨木県連高橋書記長、茨木県職員組合鈴木執行委員、そして動労千葉からも二名の仲間が挨拶にかけつけ、大功のうちに終了した。

地域の仲間の結集のもと
大功をかちとる



『鉄路に生きる』第三報 高崎・水戸で上映会

同日、動労水戸の主催によって茨木でも「第三報」上映会が開催され、一〇〇名の仲間が結集した。国鉄労働者を支える茨木県連絡会議田中陽平氏、水戸平和問題懇談会寺沢氏、部落解放同盟茨木県連高橋書記長、茨木県職員組合鈴木執行委員、そして動労千葉からも二名の仲間が挨拶にかけつけ、大功のうちに終了した。



〔連帯のあいさつ〕国労高崎地本オ、国労前橋支部、部落解放同盟埼玉県連、たからぶね労組、全国一般日産ディーゼル分会、佐野市職、合化労連化学一般群馬本部、同ニッショーニプロ労組、高教組玉川高校労組
〔メッセージ〕県立女子熊谷高校有志、菅孝行氏、鎌倉孝夫氏、反戦反核平和運動連絡センター、国労熊谷支部、全動労高崎、動労西日本、動労水戸、JR労働者有志一同



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！